

第1学年 国語科学習指導案

日時 平成26年10月 6日(月) 5校時

児童 1年2組(男子9名 女子10名 計19名)

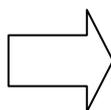
授業者 1年2組教諭 間瀬 奈緒子

- 1 単元名 「じどう車ブック」をつくろう
主教材 「じどう車くらべ」(光村図書 1年下)
補助教材 「いろいろなふね」(東京書籍1年下)
「はたらく自動車」図鑑 各種

2 単元を貫く言語活動と付けたい力の説明

【付けたい力】

- ・挿絵や写真と文を結びつけ、内容の大体をつかむ力 (Cイ)
- ・文章中の大事な言葉や文を書き抜く力 (Cエ)



【単元を貫く言語活動】

- ・じどう車の「しごと」とそれにぴったりの「つくり」を考え「じどう車ブック」を作る。
- ・「じどう車ブック」は、「じどう車名」「しごと」「つくり」「絵」でまとめる。

【その特徴】

- ・挿絵や写真と説明の文を結びつけて「しごと」と「つくり」を読むことができる。
- ・「しごと」と「つくり」を書き抜くことで、ブックカードができる。

3 単元について

(1) 教材について

小学校学習指導要領における第1学年「C読むこと」の領域目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。また、本単元に関わっての指導内容は「イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。」「エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。」である。

本単元は、主教材文の「じどう車くらべ」でそれぞれの自動車の「しごと」と「つくり」を読む学習をし、そこで学んだことを生かして、自分でも好きな自動車について「しごと」と「つくり」を関連させて説明する文章を書くことを主なねらいとしている。本教材は、4つのまとまりからなり、まず第1のまとまりは、自動車についての話題に始まり、「どんなしごとをしていますか。」「そのために、どんなつくりになっていますか。」という2つの問いがある。それらの問いに対し、第2から第4のまとまりでバスや乗用車、トラック、クレーン車の3種類の自動車の具体例に沿って答える列挙型の文章構成になっている。自動車はその「しごと」によって「つくり」が異なり、二つの因果関係が「そのために」という言葉で結ばれている説明のしかたとなっている。

本単元の学習を通して、説明的文章を読んで情報を読み取ることの楽しさを経験したり、絵や写真などの画像を手がかりに「しごと」と「つくり」を書き抜いて整理することで「しごと」と「つくり」の因果関係をはっきり理解させたりし、図鑑から自分の好きな自動車の「しごと」と「つくり」を書き抜いたりすることができるようにさせたい。

(2) 児童について

児童はこれまでに、1年上「くちばし」「みいつけた」で説明的な文章を読む経験をしている。「くちばし」では、「問い－答え」が3回繰り返される文章で問いと答えの文型を学習し、「みいつけた」では、「問い－答え－答え－答え」という1つの問いに対して答えが3つ列挙されている文章を学習してきた。カルタや生き物カード作りという言語活動に向けて、教材文から観点をみつけ、その観点に沿ってカルタやカードを作ってきた。

これらの学習を通して、同じ文にサイドラインを引く活動や文末表現に気をつけて「問い」や「答え」の文を見つけることができるようになってきており、主述の関係に注意してモデルの文章をまねて書くことができるようになってきた。しかしながら、絵や文から必要な情報を抜き取ったり、文章を比べながら読んだりすることはまだ十分とは言えない。

以上のことから、この単元で「問い」の文の中にある「しごと」と「つくり」を読み視点として、絵や文から情報を読み取ったり、列挙された具体例の違いに気をつけて比べながら読んだりすることに慣れさせていきたい。

(3) 指導にあたって

本単元では、自動車の「しごと」と「つくり」を紹介した「じどう車ブック」を作ることを単元のゴールとして設定する。

「みとおす」段階では、図鑑をみせたり VTR を視聴させたりして、普段目にする自動車の他にもいろいろな自動車があることに気付かせ、どんな「しごと」をしているのか、そのために、どんな「つくり」になっているのかに興味をもたせていきたい。また、「みいつけた」を想起させ、「問い」に対して3種類の自動車の例が出てくることを確認し、相違部分があるかを確かめながら学習の見通しをもたせたい。単元の終わりには「じどう車ブック」を作れるよう、図鑑等で自分の紹介したい自動車の「しごと」と「つくり」を探すよう意欲付けておきたい。また、問い①の「しごと」を先に見つけ、書き抜きさせた上で自動車の「つくり」は「しごと」によって異なっていることに気付かせておきたい。

「ふかめる」段階では、問い②の「つくり」について種類ごとに読んでいく。その際、「しごと」と関連する「つくり」であり「そのために」という言葉で結ばれていること、「つくり」が2つ説明されていることを確かめさせたい。また、「しごと」(赤)と「つくり」(青)に色分けさせたり、「つくり」を挿絵と結びつけられるワークシート(ブックカード)を使い絵と文を結び付けたり、大事な言葉を書き抜いたりさせ、「じどう車ブック」の一部が出来るようにしていきたい。その後、P27の「はしご車」を取り上げ、学級全体で図鑑を使ってブックカード作りをさせる。「しごと」は全体で考え同じ文を書かせ、「つくり」は挿絵に書き込む活動や図鑑から情報を取り出す活動を設定することで、「しごと」に関わる「つくり」を2つ選んで説明を書き抜かせたい。いろいろな自動車の例をくり返し読むことで「しごと」に関連した「つくり」になっているという因果関係をつかませていきたい。

「いかす」段階では、図鑑から自分の好きな自動車を選び「しごと」とそれに関連する「つくり」を調べさせ、ブックカード作りを進めさせる。できたブックカードは互いに読み合い、感想を交流し合う。

並行読書については、自動車を扱った図鑑を紹介し、画像や説明の文から「しごと」と「つくり」に注意しながら読むように指導していきたい。また、「どくしょカード」に記録していくことで、たくさんの自動車の「しごと」と「つくり」にふれさせていきたい。

4 単元の指導目標及び評価規準

(1) 単元の指導目標

- 「じどう車ブック」を作るという目的をもち、進んで図鑑を読んだりブックカードを作ったりしようとしている。(関心・意欲・態度)
- ◎挿絵や写真と文を結びつけながら、自動車の「しごと」と「つくり」を読むことができる。(Cイ)
- ◎自動車の「しごと」と「つくり」を書き抜くことができる。(Cエ)
- 片仮名の長音、拗音、促音、撥音の表記ができる。(伝国イ(エ), ウ(ア))

(2) 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・自動車に興味をもち、図鑑や説明の文章から「しごと」と「つくり」を進んで読んだり、「じどう車ブック」のカードを作ったりしようとしている。	・挿絵や写真と文を結びつけ「しごと」と「つくり」を関連づけて読んでいる。(Cイ) ・文章や図鑑から自動車の「しごと」や「つくり」を書き抜き、ブックカードを作っている。(Cエ)	・片仮名の長音、拗音、促音、撥音の表記ができています。(イ(エ), ウ(ア))

5 単元の指導計画(10時間扱い)

学習課程	主な学習活動	教師の支援	評価規準
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> みとおす (3時間) 単元のゴール を知り、これ からの学習の イメージをつ かむ。 </div> 	①知っている自動車について交流し合い、全文を読んで学習の見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「じどう車ブック」をつくらう。</div>	○図鑑を提示したりVTRを視聴させたりして自動車に興味をもたせたい。 ○内容の大体をとらえるために、拡大した挿絵を並べ、3つの例について考えていくことを確認する。	★学習のおおまかな計画が分かり、見通しをもっている。(関・意・態)
	②既習の「みいつけた」と比べることで、問いの文が最初にまとめて書かれていることが同じで、問いの文が2つあることが違うことを確かめる。	○「みいつけた」と同じ所はないか考えさせ、問いの文が最初に書かれてあることに気付かせたい。 ○問いの文が2つあることに触れ、答えも2つずつあることの見通しをもたせたい。	★問いの文を理解している。(Cイ)
	③問い①「しごと」について3種類の自動車の「しごと」を見つけ、書き抜く。	○問い①に対する答え①「しごと」の文に赤でサイドラインを引かせ、「しごと」によって「つくり」が違うことの見通しをもたせたい。	★3種類それぞれの自動車の「しごと」を書き抜いている。(Cイ, エ)

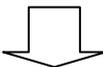
<p style="text-align: center;">ふかめる (4時間) 自動車の「しごと」や「つくり」を読み取り、ブックカードを作る。</p>	<p>④「バスやじょうよう車」の「しごと」に関連した「つくり」を書き抜き、ブックカードを作る。</p> <p>⑤「トラック」の「しごと」に関連した「つくり」を書き抜き、ブックカードを作る。 (本時)</p> <p>⑥「クレーン車」の「しごと」に関連した「つくり」を書き抜き、ブックカードを作る。</p> <p>⑦図鑑から「はしご車」の「しごと」とそれに関連した「つくり」を書き抜き、ブックカードを作る。</p>	<p>○挿絵と文章のどこが対応しているのか確かめていきたい。</p> <p>○「しごと」をするための「つくり」であることを関連付けて読み取らせ、ワークシート(ブックカード)に書き抜きできるようにする。</p> <p>○答え②「つくり」の文に青でサイドラインを引かせ、「つくり」が2つあることに気付けるようにする。</p> <p>○学級全体で「はしご車」の仕事を確認、書き抜きさせたい。</p> <p>○図鑑の絵や文から「しごと」に関連した「つくり」の情報を取り出し、2つ選んで書き抜きできるようにする。</p>	<p>★挿絵と文を結び付け、バスや乗用車の「しごと」に関連した「つくり」を書き抜いている。 (Cイ, エ)</p> <p>★挿絵と文を結び付け、トラックの「しごと」に関連した「つくり」を書き抜いている。 (Cイ, エ)</p> <p>★挿絵と文を結び付け、クレーン車の「しごと」に関連した「つくり」を書き抜いている。 (Cイ, エ)</p> <p>★図鑑からはしご車の「しごと」とそれに関連した「つくり」を書き抜き、ブックカードを作っている。 (Cイ, エ)</p>
<p style="text-align: center;">いかす (3時間) 自分の選んだ自動車でブックカードを作り、交流する。</p>	<p>⑧⑨自分が紹介したい自動車を選び、「しごと」とそれに関連した「つくり」を書き抜き、ブックカードを作る。</p> <p>⑩グループごとにブックカードを読み合い交流し合う。</p>	<p>○選んだ自動車の「しごと」と「つくり」を関連づけて、「しごと」に合った「つくり」であるかを考えるように支援する。</p> <p>○作ったブックカードを読み合い、ひと言でも感想を述べさせる。</p>	<p>★図鑑から自分が選んだ自動車の「しごと」とそれに関連した「つくり」を書き抜き、ブックカードを作っている。(Cイ, エ)</p> <p>★ブックカードを読み合い、感想を述べることができる。 (関・意・態)</p>

6 本時の指導（5／10時間目） 1年2組

(1) 目標

挿絵と文を結びつけ、トラックの「しごと」に関連した「つくり」をブックカードに書き抜くことができる。

(2) 展開

過程	学習活動と主発問	時間	○教師の支援 ★評価
みとおす	<p>1 前時までを想起する。</p> <p>2 学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> トラックの「しごと」にぴったりの「つくり」をかんがえ、ブックカードをつくろう。 </div>	5	<p>○バスやじょうよう車の「しごと」と「つくり」をふり返り、「しごと」にぴったりの「つくり」であることを確かめる。</p> <p>○トラックの「しごと」を確認し、課題につなげる。</p> <div style="border: 2px dotted black; padding: 10px;"> <p>《(3)言語活動に結び付く場の位置付け》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラックの「しごと」に関連する「つくり」をブックカードに書き抜きする時間であることを確認する。 </div>
ふかめる	<p>3 トラックの部分を音読する。</p> <p>4 トラックの「しごと」や「つくり」を挿絵に書き込む。(一人読み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラックの「しごと」と「つくり」に関する言葉を挿絵に書き込みましょう。 <p>5 「しごと」に合った「つくり」かどうかを交流する。</p> <p>①ペアで交流する。(ペア読み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き込みしたところを見せ合いながら、どんな「つくり」になっているのか、どうして「しごと」にぴったりののか友だちの考えを聞きましよう。 ・相手の言ったことをもう一度くり返して、一つずつ交替しながら交流してください。 <p>②全体で話し合う。(クラス読み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラックの「しごと」にぴったりの「つくり」は何ですか？ <p>うんてんせきのほかは、ひろい にだい になっています。</p> <p>おもい にもつ をのせるトラックには、タイヤ がたくさんついています。</p>	<p>3</p> <p>6</p> <p>8</p> <p>15</p>	<p>○一文ずつ指名し、音読させる。</p> <div style="border: 2px dotted black; padding: 10px;"> <p>《(1)ねらいに沿った一人読みの工夫》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の挿絵に対応させながら、「しごと」と「つくり」に関する言葉を書き込みさせる。 </div> <div style="border: 2px dotted black; padding: 10px;"> <p>《(2)自分の考えを深める活動の設定》</p> <p>ペア読み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の書き込みや文を見せ合いながら、互いの考えを聞き合うことで、「しごと」とぴったりに合った「つくり」なのか確かめることを目的とする。 ・相手の言ったことをオウム返しして、一つずつ交互に交流させる。 ・クラス読みでは、どうして「しごと」にぴったりののかを確かめるという見通しをもたせておく。 <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> </div>

	<p>◆ どうして、にだいが広くないといけないのですか。</p> <p>◆ どうして、タイヤがたくさんついている「つくり」でないといけないのですか。</p> <p>・ 同じはこぶ「しごと」をしているのだから、バスではだめなのですか。</p>	<p>クラス読み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「つくり」は「しごと」をするためのものであることを関連付けさせ、「そのために」という言葉で結ばれていることを確認する。 ・ 否定的な発問で、「しごと」にぴったり合った「つくり」であることを児童の言葉で説明できるようにする。
<p>まとめ</p>	<p>6 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トラックの「しごと」にぴったりな「つくり」をブックカードに書き抜きましょう。 ・ 今日は、トラックの「しごと」にぴったりな「つくり」を考えブックカードに書き抜きしました。 <p>7 学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次の時間は、クレーン車の「しごと」にぴったりな「つくり」をみつけていきましょう。 	<p>8</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書のトラックの「つくり」の2文に青でサイドライン引かせ、書き抜きできるようにする。 ★ トラックの「しごと」に関連した「つくり」を書き抜くことができたか。 ○ 自分で書き抜くことがむずかしい児童には、板書や教科書のサイドライン引いたところを見せ、対話しながら、「しごと」に関連したトラックの「つくり」を書き抜きできるようにする。

(3) 板書計画

